

## 平成24年度新規事業採択時評価

- おくえつ 福井県奥越地域における計画段階評価
- ちゅうぶじゅかん 中部縦貫自動車道 おおのあぶらさか 大野油坂道路 いずみ (和泉・ あぶらさか 油坂区間) に係る新規事業採択時評価

# 福井県奥越地域における計画段階評価

## 1. 福井県奥越地域の課題

### ① 自然災害発生による通行止めが日常生活に影響

- 国道158号は、当該地域と大野市街・福井市方面を連絡する唯一の幹線道路
- 該当箇所全線が異常気象時通行規制区間（連続雨量140mm以上：通行止め）に指定
- 土砂災害・豪雪等による通行止めが度々発生しており、現道は信頼性が低く、日常生活に重大な影響（図1）
- 土砂災害・豪雪時の通行止めにより、広域迂回が強えられる（図2）



国道158号(福井IC~県境間)  
自然災害による通行止め計44回



図1 国道158号の通行止め回数(H13~22)  
出典: 福井県資料

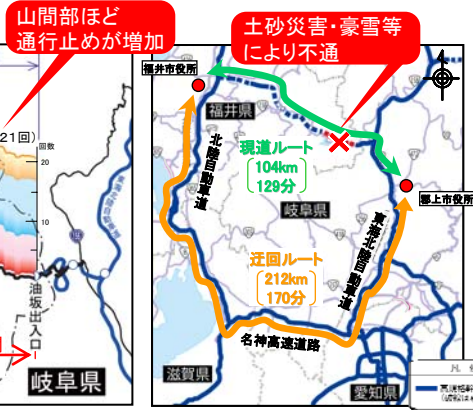


図2 災害時の迂回状況

### ② 救急医療機関へのアクセス

- 救急救命を担う最寄りの第三次医療施設（福井県立病院）までは67分、分娩可能な医療施設（郡上市民病院）へは約50分を要する地域（図3）



図3 旧和泉村役場からの60分圏域

## 2. 原因分析

### ① 防災対策が必要な急峻な法面等の存在

- 奥越地域の国道158号は、大半が災害に脆弱な区間（図4）
- ・防災点検要対策箇所 → 大野東～油坂出入口区間：50箇所  
（うち和泉～油坂出入口区間：27箇所）
- ・平面線形が厳しい箇所 → 大野東～油坂出入口区間：25箇所  
（うち和泉～油坂出入口区間：10箇所）

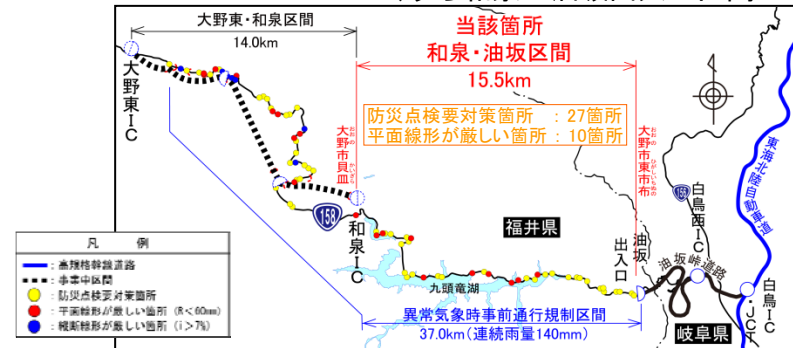


図4 線形が厳しい箇所及び防災点検要対策箇所

### ② 高速ネットワークが未整備

- 福井県奥越地域（旧和泉村）には第三次医療施設がなく、周辺地域の施設に依存せざる得ない状況（図5）
- （旧和泉村からの搬送人数はH17~H21の5年間で延べ172人）



図5 旧和泉村役場からの60分圏域の拡大

## 3. 政策目標

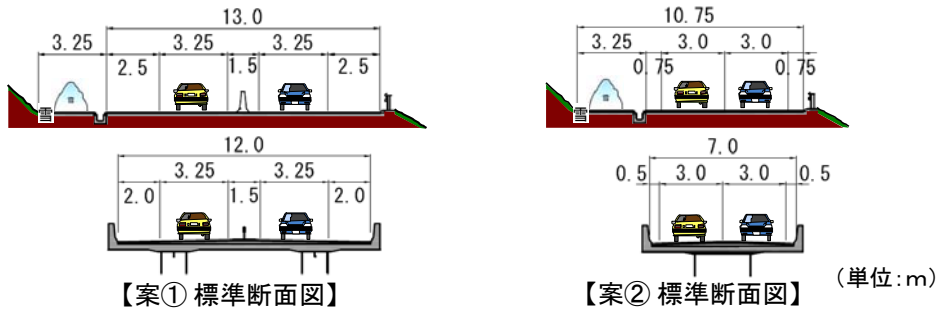
- ① 災害時におけるリダンダンシーの確保
- ② 災害に強い安全・信頼性が高い道路の確保
- ③ 第三次医療施設への定時性・速達性・走行安定性の向上

おくえつ  
福井県奥越地域における計画段階評価

4. 対策案の検討

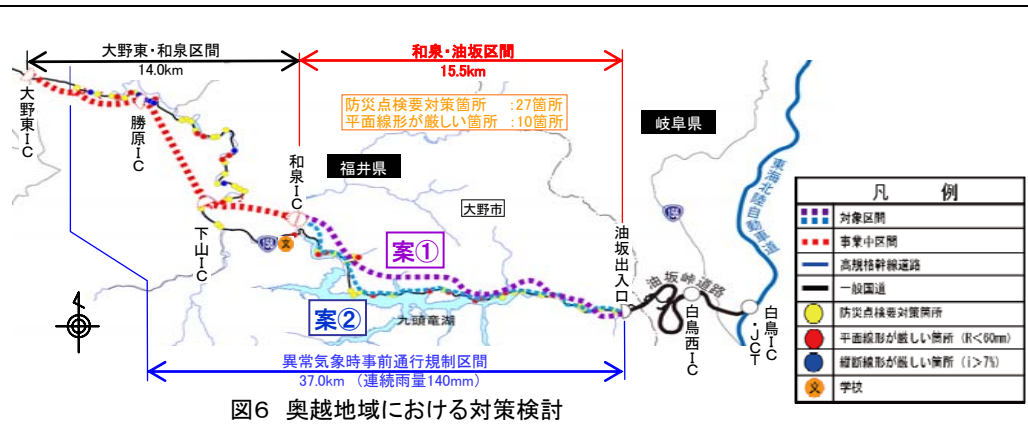
評価軸	【案①】別線整備	【案②】現道対策	
概要 概要規格	自動車専用道路による全線バイパスを整備 道路規格:1種4級・車線数:2車(完成)・設計速度:60km/h	現道を一部改良し、防災対策、線形改良等を実施し、一般国道として整備 道路規格:3種3級・車線数:2車(完成)・設計速度:50km/h	
政策目標に対する指標	①災害時におけるリダンダンシーの確保 指標:災害時における迂回路延長(福井市役所→郡上市役所) 指標:代替路確保延長比率	○ ○ ×	○ ○ ×
	②安全・信頼性が高い道路の確保 指標:平面線形が厳しい箇所(R<60m)への対応 指標:防災点検要対策箇所への対応	○ ○	○ △
	③第三次救急医療施設への 走行性・定時性・速達性の向上 指標:旧和泉村から60分圏内の第三次医療施設数 指標:旧和泉村から中濃厚生病院(第三次医療施設)への搬送時間	○ ○	○ △
事業費	約595億円	約290億円	
総合評価	○ ・自動車専用道路としての機能を確保 ・トンネルや橋梁構造により、地形改変を最小限とし自然環境に配慮	△ ・経済性に優れるが、走行性・定時性・速達性に劣り、高規格ネットワークのミッシング区間 ・地形改変が大きく、自然環境への影響が大きい	

土工部  
橋梁部



対策案:案①による対策が妥当

- ・路線名 : 一般国道158号 おおのあぶらさか 大野油坂道路
- ・区間 : いずみ あぶらさか おおの かいざら おおの ひがしちぬの 和泉・油坂区間(大野市貝皿～大野市東市布)
- ・概略延長 : 15.5km
- ・道路規格 : 1種4級
- ・標準車線数 : 2車線(完成)
- ・設計速度 : 60km/h
- ・ルート(案) : 図6, 案①のとおり



(参考) 当該事業の経緯等

- PI等の状況  
H17.2月:案①がPIIにおいて推奨
- 地域の要望等  
H23.7月:大野市長等が、国土交通大臣に早期事業化を要望  
H23.8月:中部縦貫自動車道建設促進福井協議会が、国土交通大臣に災害時のリダンダンシー確保を求める提言で早期事業化を要望  
H23.9月:福井県知事等が、国土交通大臣に災害に強い高速道路ネットワークの早期整備を要望  
H23.10月:福井県知事が国土交通大臣に大野油坂道路(未事業化区間)の早期事業化を要望



# 中部縦貫自動車道 大野油坂道路(和泉・油坂区間)に係る新規事業採択時評価

## 1. 事業概要

- ・起 終 点：福井県大野市貝皿～福井県大野市東市布
- ・延 長 等：15.5km（2車線、設計速度60km/h）
- ・全体事業費：約595億円
- ・計画交通量：約4,500台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約1,500台/日	約500台/日	約2,500台/日

- ・総費用(C)：約452億円
- ・総便益(B)：約521億円

走行時間短縮	走行費用減少	交通事故減少
約416億円	約97億円	約8億円

- ・B/C：1.2
- ・経済的内部収益率(EIRR)：4.5%

※1：総費用、総便益については、基準年(H23年)における現在価値を記入。  
 ※2：便益には、3便益(走行時間短縮便益、走行時間経費減少便益、交通事故減少便益)を計上。



## 2. 地元調整の経緯等

### PI等の状況

- ・H17年2月：PIの実施ルート帯についてのアンケート調査

### 地域の要望等

- ・H23年7月：大野市長等が、国土交通大臣に早期事業化を要望
- ・H23年8月：中部縦貫自動車道建設促進福井協議会が、国土交通大臣に災害時のリダンダンシー確保を求める提言で早期事業化を要望
- ・H23年9月：福井県知事等が、国土交通大臣に災害に強い高速道路ネットワークの早期整備を要望
- ・H23年10月：福井県知事が、国土交通大臣に大野油坂道路(未事業化区間)の早期事業化を要望



図1 事業位置図

## 3. 道路交通上の課題

- ①幹線道路が異常気象・災害時に通行止め
  - ・国道158号は、積雪、落石、土砂崩れ等による通行止めが発生しており、緊急時輸送のためのリダンダンシー確保が課題
  - ・福井県大野市は、岐阜県郡上市、愛知県岩倉市外2市と災害時相互応援協定を締結しているが、災害時に国道158号が分断されることにより、都市間の連携に支障
- ②救急医療施設への速達性
  - ・現道区間は、線形の厳しい箇所(10箇所)が点在
  - ・福井県奥越地域(旧和泉村)は、第三次救急医療施設へ60分で到達できない地域(図3)

## 4. 整備効果

### 効果1 異常気象・災害時における緊急輸送道路の確保

- ・異常気象・災害時においても、第1次緊急輸送路を確保できることから、地域の安全性・信頼性を確保
- ・災害協定を結んでいる都市(郡上市、岩倉市、他2都市)との所要時間が短縮(図2)



図2 大野市と災害相互応援協定を結んでいる都市間の所要時間

### 効果2 第三次医療施設への速達性向上

#### ・分娩可能な医療施設が増加

- ・高速ネットワークが整備されることにより、第三次医療施設までの60分圏域が拡大(図3)
- ・更に分娩可能な医療施設が増加(1→4医療施設)  
 (郡上市民病院、福井大学医学部附属病院、福井県立病院、済生会病院)

旧和泉村役場～福井県立病院：  
 67分→55分(12分短縮)  
 旧和泉村役場における60分圏人口：  
 0人→566人(566人増)

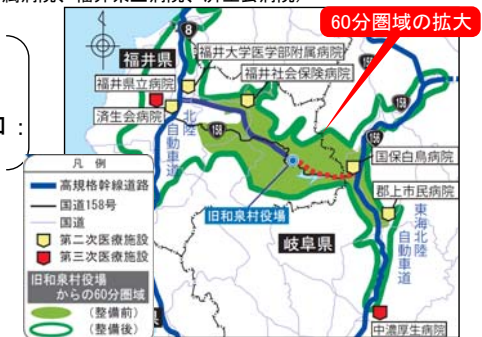
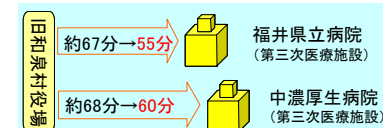
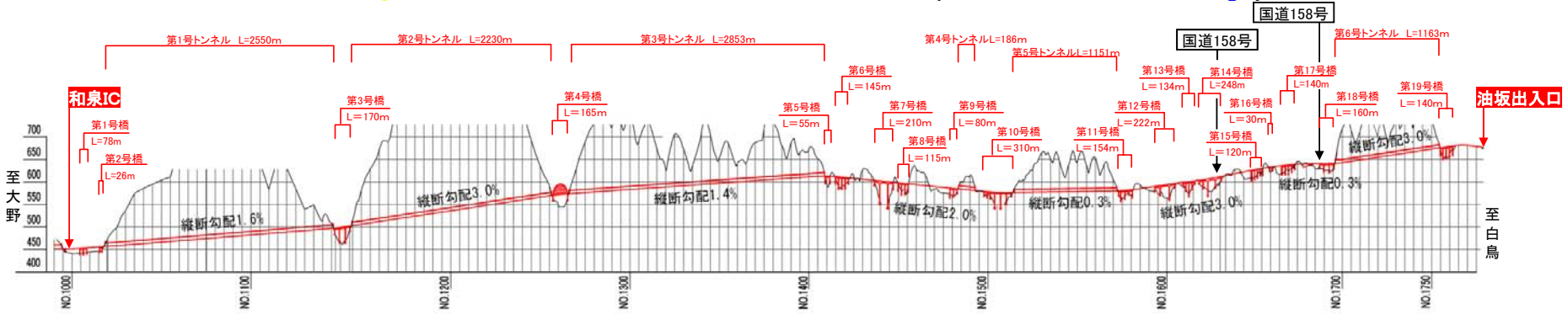


図3 旧和泉村役場からの60分圏域の拡大



3 便益 B/C	1.2	総費用	452億円	総便益	521億円	基準年 平成23年度
		事業費 維持管理費	405億円 47億円	走行時間短縮便益 走行経費短縮便益 交通事故減少便益	416億円 97億円 8億円	

※費用対便益算定上の事業期間は10年としている